

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 6月

平成27年6月1日の推計人口 1,376,194人

世帯数 569,271世帯

参考：H22.10.1現在国勢調査総人口：1,426,779人、
世帯数：558,660世帯

1 推計人口

平成27年6月1日現在の推計人口は、1,376,194人で、前月(1,376,647)に比べ453人の減少となった。

市部では大村市(72)、諫早市(36)の2市で増加し、佐世保市(152)、雲仙市(73)、平戸市(55)、対馬市(46)、松浦市(45)、南島原市(36)、長崎市(34)、壱岐市(28)、五島市(14)、西海市(9)、の10市で減少した。(島原市は増減なし)

郡部においては、波佐見町(8)、長与町(1)の2町で増加し、新上五島町(36)、小値賀町(17)、川棚町(16)、東彼杵町(4)、時津町(3)、佐々町(2)の6町で減少した。

自然動態は、出生数864人、死亡数1,322人で458人の減少、社会動態は、転入者数3,013人(県内転入を含む)、転出者数3,008人(県内転出を含む)で、5人の増加となった。

2 世帯数

平成27年6月1日現在の世帯数は、569,271世帯で前月(568,904)に比べ367世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…4月

1人あたり現金給与総額 256,718円

対前月比 2.5%減少

対前年同月比 4.8%増加

1 賃金

4月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額256,718円で、前月に比べ2.5%減少し、前年同月に比べ4.8%増加減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は251,380円で、前月に比べ2.0%増加し、前年同月に比べ4.3%増加した。

特別給与額は5,338円で、前年同月に比べ、1,562円減少した。

2 労働時間

4月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は164.1時間で、前月に比べ1.9%増加し、前年同月に比べ1.6%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は150.5時間で前月に比べ2.0%増加し、前年同月と比べ1.5%増加した。

所定外労働時間数は13.6時間で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ3.5%増加した。

3 雇用

4月の常用労働者数は214,681人で、前月比は2.2%増加し、前年同月に比べ0.3%減少した。

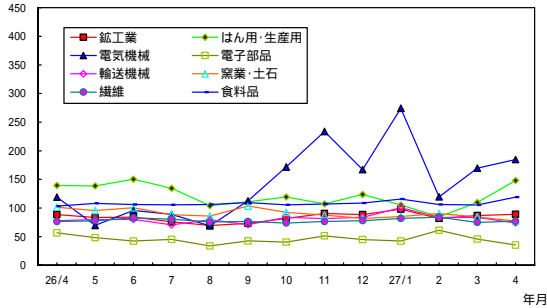
【鉱工業生産指数】……………4月

平成27年4月の鉱工業生産指数

(平成22年=100)

区分	季節調整指数	前月比(%)	原指数	
			原指数	前年同月比(%)
長崎県	88.9	5.7	82.8	0.6
九州	105.2	0.8	101.1	5.9
全国	99.3	1.2	96.3	0.1

主要業種の動き (平成22年=100 季節調整済指数)



平成27年4月の鉄工業生産指数は、季節調整済指数が88.9で前月比は5.7%の増、原指数は82.8で、対前年同月比は0.6%の増となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、食料品工業、繊維工業など7業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、電気機械工業、窯業・土石製品工業など6業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	33.4	12.4	ボイラー
食料品工業	12.4	13.0	煮干
繊維工業	4.2	1.3	織物製外衣

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	10.6	33.3	シリコンウエハ
輸送機械工業	8.3	9.3	新造船
電気機械工業	4.6	53.4	交流発電機
窯業・土石製品工業	3.7	22.2	生コンクリート

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 5月

総合指数(H22=100)	103.7
対前月比 (%)	0.4
対前年同月比 (%)	1.0

平成27年5月の長崎市の消費者物価総合指数は、

平成22年を100として、103.7である。

前月比は、0.4%の上昇で、上昇要因は「食料」の+1.2%、「光熱・水道」の+0.3%、「教養娯楽」の+0.6%であり、主な下落要因は「家具・家事用品」の1.1%である。

前年同月比は、平成27年2月は+2.4%、3月は+2.4%、4月は+1.0%と推移した後、5月は1.0%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.2であり、前月比は0.1%の上昇、前年同月比は0.5%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	+1.2%
光熱・水道	+0.3%
交通・通信	+0.2%
教養娯楽	+0.6%
諸雑費	+0.2%

下落した費目

住居	0.1%
家具・家事用品	1.1%
被服及び履物	0.1%
保健医療	0.4%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 5月

消費支出(一世帯当たり)	262,414円
前月比	329,174円 (20.3%減)

平成27年5月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は262,414円で、前月比20.3%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は89.7%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	69,331	3.5
住居	15,850	19.6
光熱・水道	23,042	12.8
交通・通信	36,998	7.1
教養娯楽	24,423	4.1

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず参考値として利用ください。